東北大学 まなび情報誌

まなぶひと

TAKE FREE

2018.2 月号
Vol.26

学ぶひととき、
学ぶひとたち
を応援します。

―伊達の跡・伊達の品―

東北大学関連イベント・インフォメーション

東北大学　まなび情報誌

まなぶひと

2018
2月号
Vol. 026

■ごあいさつ

―東北大学　まなび情報誌「まなぶひと」―

大学は学生や研究者のためのもの、と思ってはいませんか？実はそうでもありません。東北大学は、さまざまな分野での研究成果や保有する資産・空間を、地域のみなさまと広く共有したいと考えています。

そこで生まれたのが、この「まなぶひと」。

東北大学が実施しているさまざまな公開講座、講演会、コンサート、企画展や公開施設など、地域のみなさまに広くご参加、ご来場いただきたいイベント情報等をお届けいたします。

「まなび」を愛するみなさまの「まなぶひととき」にお役立ていただければ、幸いです。

■もくじ

1.　ごあいさつ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2.　社会のなかの東北大学　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

3.　特集　仙台城跡二の丸（川内キャンパス）出土遺物　・・・・・・・・・・4

4.　イベントカレンダー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

5.　イベント詳細情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

6.　キャンパスマップ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

表紙：仙台城跡二の丸出土第９地点出土品
［左上・右下：肥前焼（江戸時代後半）］
［右上・左下：唐津焼向付（江戸時代初期）］

ち い き

社会のなかの東北大学

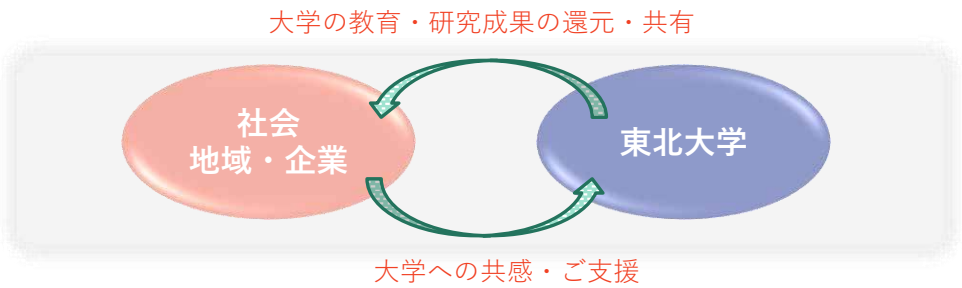
■暮らしの中に生きる、身近な東北大学を目指して。

大学の使命はまず、教育・研究を通じて社会に有意な人材を輩出し、最新の研究成果を生み出していくことですが、もう一つ、大切な使命があります。それは地域社会との連携です。

東北大学は日本を代表する大学であるべきと同時に、東北、宮城、そして仙台に深く根付いた、地域のみなさまに身近な大学でなければなりません。

実践的なフィールドワーク、社会のニーズに応じたテーマの講義、またさまざまな文化事業などの社会連携活動を積極的に推進し、地域のみなさまに寄り添い、ご支援をいただけるよう努めていきたいと考えています。

みなさまの暮らしの中でともに歩み続ける東北大学に、どうぞご期待ください。



■東北大学における主な社会連携事業

公開講座・講演会

- 市民のためのサイエンス講座
- 東北大学レクチャーシリーズ
- サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

地域連携

- 中高校生職場体験、学校訪問
- 仙台七夕花火祭
- アカデミックツーリズム

文化事業

- 川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム
- からひらロビーミニコンサート
- ミュージックプログラム
- 歴史的資産の保存・公開　など

コンベンションの推進

- コンベンション誘致に関する窓口の設置
- コンベンション開催、学校等主催行事への供与
- 百周年記念会館川内萩ホールの運営

出前授業

- 減災ポケット「結」プロジェクト
- 楽しい理科の話
- サイエンスデイ

施設公開

- 東北大学史料館
- 総合学術博物館・理学部自然史標本館
- 東北大学植物園
- 東北大学附属図書館

Web まなぶひと

東北大学の web ページからも「まなぶひと」をご覧いただけます。

https://www.tohoku.ac.jp/japanese/social/relation/04/relation0401/

―伊達の跡・伊達の品―

川内キャンパスは、国指定史跡仙台城跡に隣接する重要な場所として、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に指定されています。この場からは、縄文・弥生時代の土器や石器、古代の瓦なども出土しますが、中でも数多く出土するのが、伊達政宗の時代以降に使用されていた陶磁器などの生活用品です。それもそのはず、川内南キャンパスには、伊達政宗の娘の五郎八姫の屋敷や、二代藩主伊達忠宗により造営された二の丸、また川内北キャンパスには武家屋敷が建てられていました。

政宗の時代には、城は山城としての機能が重視され、政治や儀式の中心は山の上の本丸で執り行われていましたが、幕藩体制の安定とともに政治の中枢機能は二の丸へと移り、以後約 230 年の永きに渡り二の丸は藩の政治と文化の中心地となりました。

政宗公生誕 450 年の節目に当たる今年度、その貴重な出土品を直に目にすることができる展示が行われています。数百年の年月を経ても色褪せない品々の魅力に触れ、伊達家ゆかりの人々の生活に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

【写真】仙台城跡二の丸第 17 地点出土肥前磁器。出土する磁器は肥前焼のほか、中国からの輸入品も。（会場①にて展示）

二の丸跡からは碁石、将棋の駒、竹とんぼ、土人形など玩具も多く出土。土人形では雛人形などの節句人形、犬や猫などの動物、七福神や狛犬など縁起物などがみられる。子供の守り神や縁日での土産などとして作られたという説も。志野焼の南蛮人人形は、類例のない非常に貴重なもの。手足が欠けているため用途はわからないが、燭台などの可能性が考えられるという。

【写真】仙台城跡二の丸第 9 地点出土土人形（左：猫、中上：犬、中下：猪）、志野焼南蛮人人形（右）（いずれも会場①にて展示）

【写真】仙台城跡二の丸第 9 地点出土陶器。江戸時代後半に使用されていた京焼。錆絵（さびえ）や色絵で繊細な文様が描かれる。緻密な素地と卵黄色気味の釉は京焼の特徴。艶を失わない表面に走る貫入も美しい。肥前や大堀相馬などの陶器窯では、高級品である京焼を模倣した製品が作られることもある。（会場②にて展示）

①川内キャンパスのむかしむかし Ⅰ
～仙台城跡二の丸～

詳しくは 3 31 の チラシをご覧ください。

≪①②いずれも入場無料≫

【会場】東北大学史料館（片平キャンパス内）
【会期】2018 年 1 月 15 日（月）～ 2 月 9 日（金）10:00 ～ 17:00
月曜日～金曜日（祝日を除く）

②かわうち今昔ものがたり

【会場】東北大学百周年記念会館 川内萩ホール展示ギャラリー（川内キャンパス内）
【会期】常設展示　9:30 ～ 17:00（火曜日休館）
※イベント開催時は展示を見学できない場合があります。
詳しくは川内萩ホールまでお問い合わせ下さい。【TEL】022-795-3391

○内容に関する問い合わせ先：東北大学埋蔵文化財調査室【TEL】022-217-4995【E-mail】maibun@grp.tohoku.ac.jp

Event Calendar

2018.1.15 ～ 2018.3　東北大学関連　イベントカレンダー

区分	開催日	イベント名	会　場	時　間	問合わせ先・その他
公開講座【募集中】	①10/3(火)- ②11/1(水)-	1 東北大学 MOOC ①「memento mori -死を想え-」 ②「解明：オーロラの謎」	オンライン （対面授業あり）		オープンオンライン教育開発推進センター secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp 無料
企画展【申込不要】	12/12(火)- 1/21(日)	2 附属図書館国連寄託図書館展示「ユネスコ：心の中に平和の砦を」	附属図書館本館1号館エントランス展示コーナー ■川内キャンパス	[平日] 8:00-22:00 [土日祝] 10:00-22:00	附属図書館参考調査係 TEL:022-795-5935 無料
企画展【申込不要】	1/15(月)- 2/9(金)	3 東北大学創立 110 周年記念・伊達政宗公生誕 450 年記念「川内キャンパスのむかしむかし I「～仙台城跡二の丸～」	東北大学史料館 ■片平キャンパス	[平日] 10:00-17:00 (祝日を除く)	埋蔵文化財調査室 TEL:022-217-4995 無料
公開講座	1/16(火)	4 理研よこはまサイエンスカフェ with 東北大学	au SENDAI 2F イベントスペース	18:00-19:30	理化学研究所横浜事業所 TEL:045-503-9111 ※要問合せ(締切済み)
公開講座【募集中】	1/17(水)	5 災害科学国際研究所第 2 回実践的防災学シンポジウム「すこやかな暮らしの復興～復興のその先を見据えて～」	災害科学国際研究所棟1 階多目的ホール ■青葉山キャンパス	15:00-18:30	災害科学国際研究所 総合減災プロジェクトエリア TEL:022-752-2135 無料/E-mail,TEL 申込
公開講座【申込不要】	1/19(金)	6 第 148 回サイエンスカフェ「食べ物を美味しくする加工技術～故きをたずねて新しきを知る～」	青葉山コモンズ 1 F ラーニングコモンズ ■青葉山キャンパス	18:00-19:45	広報課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
公開講座【申込不要】	1/20(土)	7 医学系研究科未来型医療関連イベント 市民公開講座「エピゲノムって何だろう？ - 記憶される生活習慣の科学 - 」	片平さくらホール ■片平キャンパス	14:00-15:30 13:30 開場	医学系研究科・医学部広報室 TEL:022-717-3607 無料
公開講座【申込不要】	1/20(土)	8 第 55 回東北大学農学カルチャー講座「貝にまつわる愉快？な話」	青葉山コモンズ ■青葉山キャンパス	14:00-17:00	翠生農学振興会 TEL:022-757-4070 無料
公開講座	1/21(日)	9 せんだい環境学習館 たまきさんサロン サロン講座「狩猟と食～なぜ？鹿の駆除が必要になったのか～」	たまきさんサロン （環境科学研究科本館） ■青葉山キャンパス	13:30-15:30	せんだい環境学習館 たまきさんサロン TEL:022-214-1233 ※要問合せ(締切済み)
公開講座	1/24(水), 2/7(水), 2/21(水), 3/7(水)	10 せんだい環境学習館連続講座「環境科学がよく解かる、ディスカッション！」	たまきさんサロン （環境科学研究科本館） ■青葉山キャンパス	18:30-20:30	せんだい環境学習館 たまきさんサロン TEL:022-214-1233 ※要問合せ(締切済み)
公開講座【募集中】	1/25(木)-	11 東北大学 MOOC「東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ-災害科学の役割」	オンライン		オープンオンライン教育開発推進センター secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp 無料

詳細は P10 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会　場	時　間	問合わせ先・その他
公開講座 【申込不要】	1/26(金)	12 第 51 回 IRIDeS 金曜フォーラム 「災害に備えて・災害が起きたときに、現場で求められているものは何か」	災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール ■青葉山キャンパス	16:30-18:30	災害科学国際研究所 広報室 TEL:022-752-2049 無料
公開講座 【申込不要】	1/28(日)	13 第 14 回 東北大学男女共同参画シンポジウム 「性・生・制を考える」	医学部開設百周年記念ホール (星陵オーディトリアム) ■星陵キャンパス	13:00-17:00 [茶話会] 17:00-	総務企画部総務課 TEL:022-217-4811 無料/託児所あり(無料) (生後 6 ヵ月-小学 3 年生まで) [茶話会] 会費:1,000 円 託児所&茶話会申込先(1/21 まで): danjyo@grp.tohoku.ac.jp
講演会 【申込不要】	1/29(月)	14 講演会「西洋史学はディシプリンか一母国語による近代化の上に成立した世界的にユニークな学問一」	国際文化研究科研究科棟 1 階会議室 ■川内キャンパス	16:20-17:50	国際文化研究科江藤裕之 hiroyuki.eto.d6@tohoku.ac.jp 無料
公開講座 【申込不要】	1/30(火)	15 第 5 回東北大学病院肝臓病教室「肝硬変について～いろいろな症状に対する新しい治療～」	東北大学病院外来診療棟 1 階キャンサーボード室 ■星陵キャンパス	15:00-16:00	東北大学病院 肝疾患相談室 TEL:022-717-7031 無料
公開講座 【募集中】	2/2(金)	16 災害復興新生研究機構シンポジウム「震災復興と創造・変革の先導を目指して」	<東京> 有楽町朝日ホール (有楽町マリオン 11F)	13:00-17:00 12:00-受付	災害復興新生研究機構 企画推進室(総長室) TEL:022-217-5009 無料/定員 500 名 web,FAX 申込
公開講座 【募集中】	2/3(土)	17 学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座 『講座仙台学 2018』 ①「仙台のスポーツとボランティア」 ②「仙台の地名と災害」	仙台市市民活動サポートセンター 6 階セミナーホール	①10:30-12:00 ②13:00-14:30	教育・学生支援部 教務課教育支援係 TEL:022-795-4933 無料/定員各 80 名 先着順/E-mail,FAX 申込 申込締切:1/26
公開講座 【募集中】	2/3(土)	18 東北講演会 「仙台藩の戊辰戦争」	片平さくらホール ■片平キャンパス	14:00-15:30 [懇親会] 15:40-	一般社団法人学士会事業課 TEL:03-3292-5955 講演会:無料/懇親会:3 千円 定員:120 名/E-mail 申込
公開講座 【募集中】	2/7(水)	19 COI 東北拠点シンポジウム 「202X 年の健康幸福社会を実現するデータ・インテグレーション」	<東京>COREDO 室町 3 室町ちばぎん三井ビルディング 8 階	13:00- 12:00 開場	イノベーション戦略推進センター事務支援室 TEL:022-752-2186 会費:4 千円 定員 150 名/E-mail 申込
講演会 【募集中】	2/7(水)	20 東証 IPO セミナー in SENDAI Entrepreneur Week	<セミナー> 金属材料研究所 2 号館 1 F 講堂 <懇親会> レストラン萩	[セミナー] 14:00-17:05 13:30-受付 [懇親会] 17:15-18:30	産学連携機構 TEL:022-217-6045 セミナー無料/定員 100 名 懇親会費:2 千円 web,FAX 申込 申込締切:1/31
公開講座 【募集中】	2/10(土)	21 災害科学国際研究所シンポジウム「歴史が導く災害科学の新展開」	災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール ■青葉山キャンパス	13:00-17:00	災害科学国際研究所 災害文化研究分野 TEL:022-752-2146 無料 web 申込,当日参加可

区分	開催日	イベント名	会　場	時　間	問合わせ先・その他
公開講座【募集中】	2/18(日)	22 情報科学研究科シンポジウム「『情報科学』から『交通ネットワーク』を考える」	情報科学研究科棟 2 階 大講義室 ■青葉山キャンパス	13:00-17:00 12:30 受付開始	情報科学研究科総務係 TEL：022-795-5813 is-somu@grp.tohoku.ac.jp 無料/先着 150 名 web 申込可
コンサート【発売中】	2/18(日)	23 川内萩ホール フォーシーズンズ・プログラム 2017 - 2018 vol. 4「山田和樹指揮　東京混声合唱団」	川内萩ホール ■川内キャンパス	15:00 開演 14:30 開場	河北新報社企画事業部 TEL:022-211-1332 S 席:5,200 円 A 席:4,500 円 大学生以下:3,000 円 ※萩友会プレミアム会員割引あり
公開講座【申込不要】	2/23(金)	24 第 149 回サイエンスカフェ「宇宙に響くさえずりとジオスペース」	せんだいメディアテーク	18:00-19:45	広報課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
公開講座【申込不要】	2/23(金)	25 第 52 回 IRIDeS 金曜フォーラム「南海トラフ地震の予測可能性と社会対応」※チラシなし	災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール ■青葉山キャンパス	16:30-18:30	災害科学国際研究所広報室 TEL:022-752-2049 無料
公開講座【募集中】	2/23(金)	26 第 13 回からだの教室「オトコだって悩んでます！不妊治療のホンネ」	SENDAI KOFFEE CO.(青葉区春日町 4-25 パストラルハイム春日町 1F)	19:00-20:30 18:30 開場	東北大学病院 広報室「からだの教室」担当 TEL:022-717-7149 無料/定員 25 名 web 申込/締切:2/2
公開講座【募集中】	2/24(土)	27 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター仙台シンポジウム「ほんとの空が戻る日まで -震災の記録と教訓を残し、未来に活かす-」	片平さくらホール ■片平キャンパス	13:00-17:30	うつくしまふくしま未来支援センター事務室 TEL:024-504-2865 無料/定員 150 名 FAX,web 申込
公開講座【募集中】	3/10(土)	28『かたりつぎ』朗読と音楽の夕べ	多賀城市文化センター大ホール	14:00 開演 (16:00 終演予定) 13:00 開場	災害科学国際研究所 災害アーカイブ研究分野 TEL:022-752-2099 無料/申込先着順 申込締切:2/20 消印有効
公開講座【申込不要】	3/16(金)	29 第 150 回サイエンスカフェ「追跡！体内の薬のゆくえ ～機能画像からはじまる未来医療～」	せんだいメディアテーク	18:00-19:45	広報課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 受講料無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
コンサート【発売中】	3/24(土)	30 エフエム仙台開局 35 周年記念 東北大学川内萩ホール Classical Wave「オーケストラで歌うエバーグリーンコンサート」	川内萩ホール ■川内キャンパス	17:00 開演 16:00 開場	エフエム仙台サウンズ TEL:022-265-7716 一般:4,800 円 萩友会:3,800 円 学生:2,500 円
企画展【申込不要】	常設	31 かわうち今昔ものがたり	川内萩ホール 正面エントランス ■川内キャンパス	火曜休館	川内萩ホール TEL:022-795-3391 無料

※当該記載事項は、1 月 10 日現在の情報です。記載内容等に変更がある場合もありますので、詳細については、別添のチラシを参照するか、問い合せ先にご確認ください。
※萩友会のプレミアム会員は、割引価格でチケットを購入、また東北大学の一部施設への入館・入園料が無料になります。萩友会への加入方法や割引特典等の詳細は、「萩友会」で検索していただくか、東北大学萩友会（022-217-5059）までお問い合わせください。
※博物館・植物園の窓口では萩友会会員証をご提示ください。
※開催日が迫っているもので申し込みが必要なものは、すでに募集を締め切っている場合がありますので、必ず問い合せ先にご確認ください。また、募集期間が過ぎているものでも、定員に余裕がある場合は、参加申し込みを受け付ける場合もありますので、問合せ先にご確認ください。

サイエンスカフェポイントとは？

東北大学が主催するサイエンスカフェ・リベラルアーツサロンでは、参加するごとにポイントがたまり、獲得ポイントに応じて東北大学オリジナルグッズをプレゼントしています。
ポイントカードはサイエンスカフェ・リベラルアーツサロンの受付にてお配りしています。
ぜひご活用ください！

東北大学関連

イベント詳細情報

2018.1.15～

各イベントのチラシをほぼ開催日順に掲載しています。
掲載事項（開催日時、イベント名、会場など）は
変更になる場合があります。
詳細は各お問い合せ先にご確認ください。

1

東北大学 MOOC 修了条件クリアで修了証を発行

※事前に JMOOC 公認プラットフォーム gacco の登録（無料）が必要です。

東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

2017 10月3日開講 **7月21日受講登録開始**

「memento mori - 死を想え -」

鈴木岩弓 総長特命教授　名誉教授

［教養教育院］

メメント・モリというラテン語は、「死を想え」、つまり現在は幸せに生きている自分自身もいずれは死を迎えることを忘れるな！という警句です。"Man is mortal.（人は死すべき存在である）" と言われるように、われわれ人間はいつか必ず死を迎えます。しかし死んだらどうなるのかといった、古い時代からの永遠の疑問は、未だ解明されないままです。正解のわからない死をめぐって、人はさまざまな生活様式（＝文化）を創造してきました。授業では現代日本人の死の文化を中心に、「死」について考えます。

対面授業

東京	仙台
11/18㊏	11/23㊗
■時間：13 時 30 分～（13 時間場）	■時間：13 時 30 分～（13 時間場）
■募集定員：24 人（先着順）	■募集定員：48 人（先着順）
■受講料：3,000 円	■受講料：3,000 円
■場所：東京都港区南麻布 1-6-15 アーバンネット麻布ビル 1F ドコモ gacco/ NTT-LS オフィス会議室	■場所：宮城県仙台市青葉区川内 41 東北大学川内キャンパス マルチメディア教育研究棟 6F 大ホール

■申し込み方法
①右下 QR コードより当センター HP へアクセスし「memento mori- 死を想え -」を受講登録。
（gacco 未登録の方は会員登録（無料））
②「講座の『対面授業コース』（有料）の『Peatix で申込み』を選択。
（受講料・お支払い方法等ご確認ください。）

2018 5月開講（予定） **受講登録準備中**

「男と女の文化史」

高橋章則 教授　［大学院文学研究科］
嶋﨑　啓 教授　［大学院文学研究科］
芳賀京子 教授　［大学院文学研究科］
横溝　博 准教授　［大学院文学研究科］

予期せぬ天災・人災が襲う人間社会。その予想外のことの起きる社会の半分を〈男〉が占め、もう半分を〈女〉が占めることは紛れのないこと。しかし、その半分のことが分からない。そして、知りたい。
〈男〉〈女〉のことを「想定外」と片付けず、歴史の中で、文化の中で、美術の中で、真面目に考えてみたいと思います。

東北大学サイエンスシリーズ

2017 11月1日開講 **7月21日受講登録開始**

「解明：オーロラの謎」

小原隆博 教授

［大学院理学研究科
惑星プラズマ・大気研究センター］

寒い地域の夜空を彩るオーロラについて、光る仕組み、出現の特性、突然爆発する様子、そして、オーロラのエネルギーの流れなどについて講義します。今回の舞台は、地球周辺の宇宙空間ですが、木星や土星にも、オーロラ現象は見られます。これらの惑星のオーロラの原因は太陽であることが、人工衛星や惑星探査機の活躍によって、明らかになってきました。太陽表面の絶え間のない変動、特に黒点の変動と、その影響を強く受ける惑星周辺の宇宙空間について、最新の人工衛星と地上望遠鏡の成果を基に、解説します。

2018 2月開講（予定） **受講登録準備中**

「東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ - 災害科学の役割」

今村文彦 教授　［災害科学国際研究所］
後藤和久 准教授　［災害科学国際研究所］
佐藤翔輔 助教　［災害科学国際研究所］
安倍　祥 助手　［災害科学国際研究所］

東日本大震災における調査研究、復興への取り組みから得られる知見や災害科学研究の成果を社会に組み込み、安全な社会システムを構築するための試行を紹介します。被害実態と今後の教訓を概説し、国際的な防災の取組、被災地などでの減災活動等、実践的防災学の事例を紹介します。

受講登録はコチラ（無料）

QR コードまたは下記で検索

東北大学 MOOC

※受講にはインターネット接続が可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です。

2

平成 29 年度国連寄託図書館展示

U.N.E.S.C.O.

ユネスコ　一心の中に平和の砦を一

2017 年 12 月 12 日(火)～2018 年 1 月 21 日(日)

東北大学附属図書館は、1965 年 7 月、東北地方で初めて国連寄託図書館に指定され、活動を行っています。

会場：東北大学附属図書館 本館エントランス 展示コーナー
（仙台市青葉区川内 27-1）
入場無料 開館中いつでもご覧いただけます。

クイズにお答えいただいた方にグッズをプレゼント！
※引換場所：本館 1 階レファレンスデスク　受付時間：平日 8：30-17：00

■主催：東北大学附属図書館
■お問い合わせ先：本館レファレンスデスク Tel: 022-795-5935 Mail: desk@grp.tohoku.ac.jp

【アクセス】
仙台市地下鉄東西線川内駅より徒歩 7 分

3

巡回展示決定！

東北大学創立110周年・伊達政宗公生誕450年記念

川内キャンパスのむかしむかしI ～仙台城跡二の丸～

―― これまでの発掘調査の成果を紹介 ――

会期：2018年1月15日(月)～2月9日(金)
10:00～17:00
月曜日～金曜日
(祝日、夏期休業日、年末年始除く)
入場無料

会場：東北大学史料館
(仙台市青葉区片平2-1-1 片平キャンパス内)

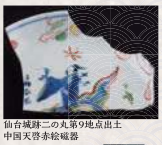
川内キャンパスは、江戸時代には南側が仙台城跡二の丸、北側が武家屋敷として使用されてきました。そして、この土地は、明治時代になると陸軍第二師団が駐屯し、終戦後には米軍が進駐した後に、大学のキャンパスとなりました。

また、江戸時代以前の痕跡はあまり多くはないのですが、縄文土器や弥生土器、石器、古代の瓦片等の古い時代の遺物も確認されています。中世には、川内キャンパス周辺一帯を含めた土地が、霊場「青葉山」として板碑が建立され、寺院などが建設された可能性が高いものと考えられています。これらのことから、川内キャンパスが位置する場所は、先史時代から継続して使用されてきたことがわかります。

今回の展示では、川内南キャンパスに焦点を当て、建物が建設される際等に行われる埋蔵文化財の発掘調査の概要を紹介することにより、このような歴史的環境の一端を紹介します。初めて公開される資料も多数ありますので、この機会にご覧頂ければと思います。

仙台城跡二の丸第9地点出土
土人形（犬）

仙台城跡二の丸第9地点出土
土人形（猪）

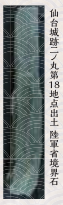

仙台城跡二の丸第9地点出土
中国天啓赤絵碗器

仙台城跡二の丸第9地点出土
土人形（猫）

仙台城跡二の丸第9地点出土
走野埴南蛮人人形

仙台城跡二の丸
第17地点出土
肥前磁器

仙台城跡二の丸
第17地点出土
三引両文軒丸瓦


仙台城跡二の丸第18地点出土　陸軍・海軍界右

お問い合わせ先
東北大学埋蔵文化財調査室　電話 022-217-4995　FAX 022-217-5103
web http://web.tohoku.ac.jp/maibun/

4

Riken Yokohama Science Cafe

理研よこはまサイエンスカフェ

免疫は体を守る？ それとも病気にさせる？

新しいリンパ球「2 型自然リンパ球」を
2010 年に発見し、
現在はこの自然リンパ球の制御による
アレルギー治療を目指した研究を行っている
理化学研究所 統合生命医科学研究センター
自然免疫システム研究チームの
茂呂和世チームリーダー。
主にウシを対象として
生産性向上への応用を目指し、
生産機能に関する生体機構について、
細胞・組織学的観点から個体レベルに及ぶ
形態学的研究を展開している
東北大学 大学院農学研究科・
農学部の野地智法准教授。
この二人をつなぐ研究テーマ「免疫」の
表と裏の役割について熱く語ります。

KAZUYO MORO

講師
茂呂和世
理化学研究所
統合生命医科学研究センター
自然免疫システム研究チームチームリーダー

栃木県出身。日本大学歯学部卒業後、慶應義塾大学医学研究科を経て、博士号取得（医学）。趣味は……以前はアクアリウムでしたが、最近は研究が趣味と実益を兼ねているような？ いつも前向きに！明るく！ 楽しく！ がモットーです。

TOMONORI NOCHI

講師
野地智法
東北大学
大学院農学研究科・農学部
准教授

静岡県出身。東北大学農学部を卒業した後、東北大学大学院農学研究科を修了し、博士（農学）を取得。東京大学医科学研究所、米国ノースカロライナ大学で、ポスドク研究員として、計7年間、研究三昧の日々を過ごしました。趣味は、ファミリーフィッシング（決して本格的と言えるレベルではなく、酒の肴になる程度の魚を釣ること）です。

日時　1月16日［火］18:00-19:30
［開場17:30］

会場　au SENDAI 2Fイベントスペース

定員　40名［抽選］

要予約
参加費
無料

申込方法　＊12月24日［日］必着

1 webサイトより申し込み
http://www.yokohama.riken.jp/sciencecafe/
にアクセスし、フォームよりお申し込み

2 E-mailよりお申し込み
氏名、年齢、電話番号を記載のうえ、
yscafe@riken.j p宛にお申し込み

申込期間　12月1日［金］から12月24日［日］まで

◉お申し込みいただいた皆様へは当落にかかわらず
参加の可否をご連絡いたします

詳しいサイエンスカフェのご案内はウェブサイトをご覧ください
www.yokohama.riken.jp/sciencecafe/

au SENDAI
宮城県仙台市青葉区一番町三丁目8番8号
一番町stearビル

［会場へのアクセス］
1. 地下鉄青葉通一番町駅から徒歩3分
2. 地下鉄広瀬通駅から徒歩5分
3. JRあおば通駅から徒歩10分

［お問い合わせ］
理化学研究所 横浜事業所
[TEL]045-503-9111（代表）
[E-mail]yscafe@riken.jp

5

東北大学災害科学国際研究所

第２回　実践的防災学シンポジウム

2nd IRIDeS Action-oriented Disaster Risk Reduction Symposium

すこやかな暮らしの復興
～復興のその先を見据えて～

2018年1月17日（水）
15:00-18:30
入場無料

災害科学国際研究所　1F 多目的ホール
（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）
http://irides.tohoku.ac.jp/access/index.html

プログラム

15:00　開会の挨拶　東北大学災害科学国際研究所 総合減災プロジェクトエリア長　丸谷浩明
15:05　趣旨説明　東北大学災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門　岩田司

第１部：報告１「すこやかな住まいの復興」

15:20「汶川大震災における住まいの再生と地域の活性化」
東北大学災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門　マリ・エリザベス
15:40「復興前後の住まい方変化から見る高齢社会における住まいづくり」
東北大学工学研究科都市・建築学専攻　佃悠

第２部：報告２「すこやかな生活の復興」

16:10「被災地域における高齢者のメンタルヘルス～高齢社会における復興後を見据えた地域づくりに向けて～」
東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門　富田博秋
16:30「海外の事例から見た災害復興後の地域コミュニティの変化と問題点」
東北大学災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門　村尾修

第３部：「すこやかな生活の復興　～復興のその先を見据えて」

17:00 パネルディスカッション
モデレータ：東北大学災害科学国際研究所　情報管理・社会連携部門　平野勝也
パネラー　立命館大学政策科学部　塩崎賢明
東北大学災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門　岩田司
東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門　栗山進一
東北大学工学研究科都市・建築学専攻　小野田泰明
東北大学災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門　井内加奈子

18:25　閉会の挨拶　東北大学災害科学国際研究所 減災・復興ユニット長　村尾修

【参加登録】以下の電子メール、または電話で、「実践的防災学シンポジウム」に参加希望とご連絡ください。
事務局　東北大学災害科学国際研究所　総合減災プロジェクトエリア（当研究所　都市再生計画技術分野内）
電子メール　iwatalab@irides.tohoku.ac.jp（担当者：須藤、眞野、菅野）
電話　022-752-2135（担当者：須藤、眞野、菅野）
【主催】東北大学災害科学国際研究所

6　24　29

東北大学2017年度 後期プログラム

Tohoku University Science Café 東北大学 サイエンスカフェ × Tohoku University Liber Al Art Salon 東北大学リベラルアーツサロン

FREE 参加費無料 事前申込みは不要です

まちを照らす 知識のともしび

飲み物を片手に気軽に参加できます！

全回 18:00-19:45

学問をもっと身近に、もっと楽しく。

サイエンスカフェ、リベラルアーツサロンは東北大学が主催する「学問をもっと身近に、もっと楽しくする」参加型のトークイベントです。参加は無料、年齢制限はありません。皆様のご参加をお待ちしています。

第145回 サイエンスカフェ　A会場
10/20（金）　松浦 祐司 教授［医工学研究科］
見えない光で健康検査
～くちびるで血糖値チェック～

第146回 サイエンスカフェ　A会場
11/10（金）　魚住 信之 教授［工学研究科］
植物はなぜ海水で育たないの？
～植物の塩害とその分子メカニズム～

第49回 リベラルアーツサロン　A会場
11/17（金）　金 鼎珍（きむ ていじん） 准教授［経済学研究科］
日本企業の国際経営と新興国市場戦略

第50回 リベラルアーツサロン　A会場
12/8（金）　小嶋 秀樹 教授［教育情報学研究部］
ロボットや人工知能と私たちは本当に理解しあえるのか

第147回 サイエンスカフェ　A会場
12/13（水）　山口 雅彦 教授［薬学研究科］
らせんと化学
※開催曜日に注意してください

第148回 サイエンスカフェ　C会場
1/19（金）　藤井 智幸 教授［農学研究科］
食べ物を美味しくする加工技術
～故きをたずねて新しきを知る～
※開催場所に注意してください

第149回 サイエンスカフェ　A会場
2/23（金）　加藤 雄人 准教授［理学研究科］
宇宙に響くさえずりとジオスペース

第51回 リベラルアーツサロン　B会場
3/2（金）　坂巻 康司 准教授［国際文化研究科］
フランス近代詩を読む
―ボードレールからの出発―

第150回 サイエンスカフェ　A会場
3/16（金）　志田原 美保 講師［医学系研究科］
追跡！体内の薬のゆくえ
～機能画像からはじまる未来医療～

A会場　せんだいメディアテーク1F オープンスクエア
B会場　東北大学片平キャンパス 片平北門会館2Fエスパス
C会場　東北大学青葉山キャンパス 青葉山コモンズ1Fラーニングコモンズ

お問い合わせ・連絡先　東北大学 総務企画部広報課社会連携推進室
022-217-5132　東北大学 サイエンスカフェ

※テーマが変更になったり、中止となる場合があります。※撮影の様子をカメラなどで撮影し、東北大学において、その写真をホームページなどの広報用に使用する場合がありますのでご了承ください。

7

東北大学大学院医学系研究科 未来型医療関連イベント・市民公開講座

エピゲノムって何だろう？
記憶される生活習慣の科学

「がん」「高血圧、糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病」。
なぜ引き起こされるのでしょうか？
わたしたちの生活習慣を記憶するという、エピゲノム。
そこには、がんや生活習慣病の謎が隠されているのです。
一緒に、その謎に迫ってみませんか？

開催日時
2018年1月20日（土）
14:00-15:30［開場13:30］
入場無料　事前予約不要／当日直接会場までお越し下さい
電話問い合わせ先 022-717-7891

会場
東北大学片平キャンパス内「さくらホール」（仙台市青葉区片平2-1-1）
［さくらホール］アクセスhttp://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/areae.html

対象
がんや、生活習慣病に関心がある方はどなたでも

出演
講　師　酒井寿郎　［東北大学 医学系研究科 細胞生物学講座 分子生理学分野 教授／東京大学 先端科学技術研究センター 代謝医学分野 教授（併任）］
聞き手・進行　林朝子　［東北放送株式会社 アナウンサー］
開会挨拶　五十嵐和彦［東北大学医学系研究科長］

講師 酒井寿郎 東北大学／東京大学教授
聞き手・進行 林朝子 東北放送株式会社 アナウンサー

主催　東北大学大学院医学系研究科　協力　TBC東北放送

イラストについて：アリスが手にしている旗、身につけているエプロン。そしてウサギや、トランプの数字。これらは本テーマに関連するキーワードが描かれています。

8

第55回東北大学農学カルチャー講座

貝にまつわる愉快？な話

日時：平成30年1月20日（土）14:00～17:00
場所：東北大学青葉山新キャンパス　青葉山コモンズ
〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1　仙台市地下鉄東西線・青葉山駅より徒歩5分

カキ、ホタテ、アカガイ、アサリ、シジミ、ハマグリ、ムール貝…。いずれも舌をうならせてくれる貝たちです。
貝たちは私たちの舌を喜ばせるために生きているわけではなく、生き物として自分が生き残り、
子孫を残すためにいろいろな作戦を練っています。毒を貯めることもあります。
この講座では、そんな貝たちの様々な知恵や毒の秘密を紹介します。
皆様、お誘い合わせの上、お気軽にご来場ください。

講演

1 二枚貝類の繁殖生理機構
長澤 一衛
（東北大学大学院農学研究科・助教）

2 二枚貝の生体防御機構
高橋 計介
（東北大学大学院農学研究科・准教授）

3 いろいろな貝毒
山下 まり
（東北大学大学院農学研究科・教授）

事前申込不要・参加費無料

主催　東北大学大学院農学研究科　（公財）翠生農学振興会
内容に関する問い合わせ　翠生農学振興会（東北大学大学院農学研究科内）TEL & FAX 022-757-4070

（後援）宮城県、仙台市、河北新報社、仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、財団法人かき研究所、宮城県食品産業協議会

9

「せんだい環境学習館 たまきさんサロン」サロン講座

狩猟と食～なぜ？鹿の駆除が必要になったのか～

日時：1月21日（日）13時30分～15時30分
講師：食猟師　小野寺　望
内容：「なぜ、鹿の駆除が必要になったのか」や「狩猟と食の関係性」を狩猟家から聞き、野生動物と人との共生の在り方を考えるきっかけにしてみませんか？
希少な鹿角（生き角）を使ったキーホルダーのワークショップもあります。
会場：たまきさんサロン
定員：35名　※抽選、当選者にのみ1/13までにご連絡します
費用：1,000円
申込締切：1月10日（水）
お申し込み方法：メールまたはハガキ、FAXに必要事項を記入してお申し込みください。
（必要事項：講座名、参加者氏名、年齢、住所、電話番号）
メール：tamaki3salon@city.sendai.jp
電話：022-214-1233　**FAX**：022-393-5038
HP：https://www.tamaki3.jp/blog/?p=21114

10

せんだい環境学習館
たまきさんサロン

サロン講座

連続講座全４回

『環境科学がよく解かる、ディスカッション！』

東北大学大学院環境科学研究科
トレンチャー・グレゴリー准教授

気候変動（地球温暖化）やエネルギー問題など環境科学分野の最新の研究論文をトレンチャー先生が日本語でやさしく解説します！
意見を交わすことで深く理解し、環境問題と向き合うきっかけにしてみませんか？

1回目　平成30年1月24日（水）「気候変動の長期的な予測と不可逆性」
2回目　平成30年2月 7日（水）「肉食生活と気候変動と人間の健康の関係」
3回目　平成30年2月21日（水）「日本のエネルギー問題と原発：どう向き合えば良いのだろうか」
4回目　平成30年3月 7日（水）「海洋プラスチック廃棄物の問題」
各 回　18：30～20：30　会 場　たまきさんサロン（青葉区荒巻字青葉468-1）
定 員　18歳以上／15名（抽選）　申込み締切　1月11日（木）

スケジュール

18：30　あいさつ、講師のご紹介
18：35　最新論文をやさしく解説
19：00　トレンチャー先生を囲んで意見交換
20：00　交流会（ドリンク付き）
20：20　まとめ
20：30　講座終了

申し込み方法

必要事項（講座名・参加者氏名・年齢・住所・電話番号）をご記入の上、メールまたはハガキ、FAXでお申込みください。
※連続で参加可能な方優先。
※抽選後、当選者にのみご連絡いたします。

地下鉄東西線「青葉山駅」南1出口より右手に徒歩1分

お申し込み・お問い合せ先「せんだい環境学習館　たまきさんサロン」
〒980-0845　青葉区荒巻字青葉468-1
東北大学青葉山新キャンパス内
東北大学大学院環境科学研究科　本館（J22）1階
TEL　022-214-1233　FAX　022-393-5038
メール　tamaki3salon@city.sendai.jp
平　日：10:00-20:30　土日祝：10:00-17:00
休館日：月曜（月曜が休日の場合は、その翌日）
祝日の翌日、年末年始
※臨時休館日はHPでお知らせいたします

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。

11

東北大学 MOOC　修了条件クリアで修了証を発行

※事前に JMOOC 公認プラットフォーム gacco の登録（無料）が必要です。

東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ
- 災害科学の役割（東北大学サイエンスシリーズ）

東日本大震災による被害と教訓，復旧と復興の現状，解明されつつある過去の履歴や将来予測を紹介します．
国際的な防災取り組み，伝承に挑む活動，避難訓練の事例を通じて実践的防災学を展望します．

東北大学　災害科学国際研究所
津波工学
今村文彦　教授

第一週
東日本大震災前の取組と被害実態
―事前対策と事中対応

第二週
被災地での復旧と復興
―人間・社会科学的な側面

第三週
地震・津波のメカニズムと履歴・将来予測
―自然科学と防災への役割

第四週
実践的な防災学と国際防災戦略
―次への備え

東北大学　災害科学国際研究所
地質学
後藤和久　准教授

災害情報
災害伝承
災害復興
佐藤翔輔　准教授

津波工学
防災・危機管理
安倍　祥　助手

2018年 1月 25日 開講

受講登録受付中

東日本大震災の経験と教訓を踏まえ，また多発する国内外での自然災害の発生を受けて，自然災害対策・災害対応策や市民・社会の自然災害への処し方そのものを見直す必要があります．社会の変貌の中，災害や影響自体も変化しており，様々な災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことが重要です．
その基礎となる災害科学は，事前対策，災害の発生，被害の波及，緊急対応，復旧・復興，将来への備えを一連の災害サイクルととらえ，それぞれのプロセスにおける事象を解明し，その教訓を一般化・統合化することです．
本講座では，東日本大震災における調査研究，復興事業への取り組みから得られる知見や，世界をフィールドとした災害科学研究の成果を社会に組み込み，複雑化する災害サイクルに対して人間・社会が賢く対応し，苦難を乗り越え，教訓を活かしていく社会システムを構築するための試行を紹介します．
講座は４つの構成で形成されており，各専門の教員が最新の知見や様々な知識・情報を提供します．第１週では，事前の取り組みの紹介も入れた被害実態と今後の教訓を概説し，第２週では，人間・社会科学的な側面を入れた被災地での復旧と復興を紹介します．第３週で，自然科学と防災への役割に視点を置きながら地震・津波のメカニズムと過去の履歴さらに将来予測についての研究事例を紹介します．最後に，仙台市で開催した 2015 年国連防災世界会議での議論と仙台防災枠組の取り組み，防災啓発・防災教育の現状，記録・伝承に挑む取り組み，被災地での避難訓練事例などを紹介して実践的防災学の事例と将来を議論します．
なお，本講座は「東北大学サイエンスシリーズ」の第２弾です．

「男と女の文化史」（東北大学で学ぶ高度教養シリーズ）　受講登録準備中

東北大学大学院文学研究科
高橋章則 教授
嶋﨑　啓 教授
芳賀京子 教授
横溝　博 准教授

2018年 5月 開講（予定）

受講登録はコチラ（無料）

QR コードまたは下記で検索
東北大学 MOOC

※受講にはインターネット接続が可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です。

12

東北大学 災害科学国際研究所 IRIDeS金曜フォーラム

災害科学国際研究所 IRIDeS
International Research Institute of Disaster Science

災害科学国際研究所では、**毎月第４金曜日の16:30**より、金曜フォーラムを開催しています。研究・活動の情報を所内のみならず、学内外・一般の方々と共有し、研究の連携・融合を図ることを目的としています。一般の方々も**申込不要・参加費不要**でご参加いただくことができます。

IRIDeS Friday forum

http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html

平成29年度第51回IRIDeS金曜フォーラム

日　時：2018年1月26日（金）
会　場：東北大学災害科学国際研究所・１F多目的ホール（裏面地図参照）
テーマ：「災害が起きたときに、現場で求められているものは何か」
司会・進行：マス エリック（災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野）
佐藤　翔輔（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

内容
1. 16:30～16:55　GB-SARによる地滑りモニタリング技術-荒砥沢、南阿蘇での実践から-
佐藤 源之（災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野）
2. 16:55～17:20　豪雨災害から命を守るために必要な考え方
森口 周二（地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野）
3. 17:20～17:45　公衆衛生学と人工知能解析技術を用いた災害対応
栗山 進一（災害医学研究部門 災害公衆衛生学分野）
4. 17:45～18:10　より効果的な復興のために　～必要な備えと実行体制～
平野 勝也（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）
5. 18:50～18:30　質疑／総合討論

13

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）

第14回 男女共同参画シンポジウム

性・生・制を考える

平成30年1月28日［日］
13:00～17:00

社会における男女の関係は、
生きる上での自然な違い、性による区別、
制度としての平等、そして
男女共同参画というステージに変遷してきた。
今後、性をどのように取り扱い、
どのような枠組みが必要なのかを考える。

プログラム

13:00 開会挨拶／総長 里見 進
13:05 来賓挨拶／山村 康子 氏
国立研究開発法人
科学技術振興機構プログラム主管

13:10 第Ⅰ部：澤柳記念賞 受賞式・受賞講演
A賞：小川 眞里子 氏 国立大学法人 三重大学 名誉教授
B賞：古山 陽一 氏 国際医療福祉大学 成田看護学部 助教

14:05 休憩

14:20 第Ⅱ部：特別講演
変わりゆく社会に「人」の普遍性を探る
～ジェンダーの視点から～
講演者：原山 優子 氏
内閣府総合科学技術・イノベーション会議
常勤議員
座長：大隅 典子
総長特別補佐（男女共同参画担当）
医学系研究科 教授
男女共同参画推進センター 副センター長

15:10 休憩

15:25 第Ⅲ部：パネルディスカッション
性を生かす制!?
男女や個性、人間性を研究室や職場でどのように生かすのか、どのように評価するのか、個人が持つ性質、人生で培ってきた経験など様々な立場からの講演ののち、討論し今後の方向性を探る。

◉パネリスト

原山 優子 氏
内閣府総合科学技術・イノベーション会議
常勤議員

吉田 浩 氏
東北大学経済学研究科
高齢経済社会研究センター長・教授

宋 美玄 氏
丸の内の女レディースクリニック
医師

小浜 耕治 氏
東北HIV
コミュニケーションズ代表・
レインボー・アドボケイツ代表

コーディネーター／山内 正憲
医学系研究科教授 男女共同参画委員会 委員、広報・シンポジウムWG座長

16:50 閉会挨拶／植木 優哉
理事・男女共同参画委員会 委員長

17:00 茶話会 ※茶話会への参加希望者は1月12日（金）までに下記メールアドレスに事前申込の上、当日に会費1,000円をお持ちください。

東北大学 星陵キャンパス
医学部開設百周年記念ホール
（星陵オーディトリアム）

入場無料
どなたでも参加可能です
※予約不要のため、当日は星陵会場にお越しください。
※一般の方もぜひご来場ください。

無料託児所を準備しております 対象：生後6ヵ月～小学3年生まで
お子様連れでも安心してご参加ください。
ご利用希望の方は1月12日（金）までに下記メールアドレスにお申込みください。

TOHOKU UNIVERSITY

主催：東北大学男女共同参画委員会
お問い合わせ：東北大学総務企画部総務課
TEL：022-217-4811 FAX：022-217-5906
Mail：danjyo@grp.tohoku.ac.jp
東北大学男女共同参画委員会WEBページ
http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo
※テーマ・講師などについては予告なく変更する場合があります。※開催の様子をカメラなどで撮影し、東北大学において、その写真をホームページなどの広報用に使用する場合がありますのでご了承ください。

14

東北大学大学院国際文化研究科主催

平成29年度科長裁量経費による学術講演会

西洋史学はディシプリンか

—母国語による近代化の上に成立した世界的にユニークな学問—

今日、わが国では大学教育における英語化が進められているが、歴史的に見て欧米諸国を除いて母国語で高等教育が行われている国は少ない。日本語による最先端の学問研究を可能にしたのは、母国語による学術語彙の蓄積の結果であるということができるが、では「なぜ日本では母国語で教育を始めたのか、いつどのようなきっかけで母国語による近代化を行おうとしたのか」という問いかけには簡単には答えられない。本講演では、母国語による近代化という視点から、日本におけるディシプリンとしての西洋史学の歴史と未来をお話しいただきます。

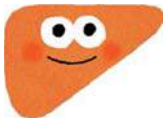
講 師：佐藤正幸 先生

山梨大学名誉教授、International Commission for the History and Theory of Historiography 元会長

- 2018年1月29日（月）16:20～17:50
- 川内北キャンパス 国際文化研究科棟1階会議室
- 事前申込み不要・参加費無料

問合せ：江藤裕之（東北大学大学院国際文化研究科） hiroyuki.eto.d6@tohoku.ac.jp

15



第５回　東北大学病院
肝臓病教室のお知らせ

このたび、肝臓の病気をお持ちの患者さんとその
ご家族などを対象に肝臓病教室を開催いたします。
ご興味のある方はどなたでもご気軽にご参加下さい。

日時：2018年１月30日（火）
15時00分～16時00分
場所：東北大学病院外来１階 キャンサーボード室
テーマ「肝硬変について
～いろいろな症状に対する新しい治療～」
講師：東北大学病院　消化器内科
梅津　輝行　先生

ご参加いただいた方からのご質問にお答えするコーナーや、
お話し合いの機会も設けたいと思います。

問い合わせ先：022-717-7031（肝疾患相談室）

17

講座仙台学2018
-仙台の過去・現在・未来-

受講料無料

東北大学の2月開講講座のご案内

日時・講座名・講師	内容	定員
2月3日（土） 10：30～12：00 仙台のスポーツとボランティア 多元物質科学研究所 村松 淳司 教授	東京オリンピック・パラリンピックまで２年。仙台のスポーツボランティアが最高のホスピタリティで多くの外国人を迎えています。その仙台のスポーツについて解説します。１９９９年ベガルタ仙台・Jリーグ加盟、２００１年国体・障碍者スポーツ大会開催、２００２年日韓ワールドカップ開催・イタリアキャンプ、２００５年プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルス、同年ｂｊリーグ・仙台８９ERS。仙台のスポーツシーンでは常に「する」「みる」「ささえる」の側面がありました。特筆すべき常時１０００人以上が活動する仙台のボランティアについて概説します。	80名 先着順
2月3日（土） 13：00～14：30 仙台の地名と災害 災害科学国際研究所 佐藤　健 教授	市民にとって最も身近な地域素材の一つに地名があります。また、東日本大震災以降、地名と災害との関係性の注目が高まってきています。重要な震災教訓の一つは、自分たちが暮らす身近な地域の自然条件と人々の生活とのかかわりについて歴史を含めて深く理解することです。その学びにあたっては、今は使われなくなった旧地名に特に価値を見出すことができます。改めて、仙台市内の幾つかの地名を具体的に取り上げ、その意味を探究するとともに、得た知識を防災に活かすことを考えます。	80名 先着順

会場：仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター
6Fセミナーホール

お申し込み方法

Eメールまたは FAXに、
講座名、氏名(ﾌﾘｶﾞﾅ)、住所、TEL･FAX番号を
記入して、開催日の1週間前までにお申し込みください。受講証を送付します。

お申し込み先

東北大学 教育･学生支援部 教務課 教育支援係
E-mail ： gsc-sc@grp.tohoku.ac.jp
FAX ： 022-795-7555　TEL ： 022-795-4933
〒980-8576 仙台市青葉区川内41

16

TOHOKU UNIVERSITY

東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム

震災復興と創造・変革の先導を目指して

プログラム

13:00 開会挨拶

13:05 来賓挨拶

13:10 震災復興を越えて創造と変革を先導する指定国立大学へ
東北大学総長 里見 進

13:30 震災復興の取組 これまでの歩みとこれから
東北大学理事(震災復興推進担当)
東北大学災害復興新生研究機構長
原 信義

13:50 世界トップレベルの「災害科学」研究拠点の形成
災害科学国際研究推進プロジェクト
災害科学国際研究所長、
災害復興新生研究機構副機構長
今村 文彦

14:30 安全・安心な社会実現のために：福島第一原子力発電所廃炉への貢献
事故炉直上調査・現地検査プロジェクト
原子炉直上型調査基盤研究センター長
渡邊 豊

休憩(20分)

15:20 東北から「未来型医療」を先導する世界青色のバイオバンクの構築と展開
地域医療再構築プロジェクト
東北メディカル・メガバンク機構
東北メディカル・メガバンク機構長
山本 雅之

16:00 ミニコンサート「被災地に届ける歌声 ～ともに歩こう～」
シンガーソングライター
幹miki 氏

16:55 閉会挨拶

開催日 平成30年 **2月2日(金)**

時間 **13:00～17:00** (受付開始時間 12:00～)

定員 **500名** [参加費無料]

場所 **有楽町朝日ホール**
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F

主 催:東北大学　後 援:文部科学省

http://www.idrrr.tohoku.ac.jp/sympo2018/

問合せ | 東北大学災害復興新生研究機構 企画推進室(総務室) TEL:022-217-5009 E-mail:skk-som@grp.tohoku.ac.jp

---

東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム　震災復興と創造・変革の先導を目指して

16:00～ ミニコンサート
「被災地に届ける歌声 ～ともに歩こう～」
シンガーソングライター 幹miki 氏

宮城県蔵王町在住のシンガーソングライター。東日本大震災直後に支援サイト「東北は負けない！！」に自身の楽曲「光」を提供。このことがきっかけでその後、宮城県沿岸部(石巻、女川、南三陸、七ヶ浜など)において、現在も音楽による復興支援を続けている。
2017年春、東北メディカル・メガバンク機構からすべての協力者を元気づけたいと依頼を受けて、「ともに歩こう」を作曲。
2017年12月、3枚目のアルバム「宙～そら」をリリース。
オフィシャルサイト http://mikimusic.net/

お申込みについて

参加をご希望の方は、下記URLの申込みフォームからお申込みください。
http://www.idrrr.tohoku.ac.jp/sympo2018

申込みは先着順となりますので、お早めにお申込みください。
※定員になり次第、申込みを終了いたしますので、ご了承ください。

FAXでのお申込みも可能です。以下に必要事項をご記入のうえ、下記番号へ送信ください。
FAX: 022-217-4856

お名前	フリガナ	電話番号	
		E-mail	
ご住所	〒　　－	ご所属 役職	
通信欄			

アクセス

有楽町朝日ホール
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1
有楽町マリオン11F

★ 映画館チケット売場横のエレベーターで11階までお起しください

下車駅(いずれも徒歩1～2分)

▶JR
(山手線・京浜東北線)**有楽町駅**　中央口 または 銀座口

▶東京メトロ
(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)**銀座駅**　C4出口
(有楽町線)**有楽町駅**　D7出口

18

学士会主催　東北大学・東北大学萩友会共催

東 北 講 演 会

仙台藩の戊辰戦争

日 時
2018年 **2** 月 **3** 日 (土)
14:00 ～ 講演会
15:40 ～ 懇親会

講 師
中村　彰彦 氏 (作家)

定 員 120 名

会 費 3,000 円 (講演会のみ無料)

会 場
東北大学　片平さくらホール
(仙台市青葉区片平 2-1-1)
※JR「仙台」駅西口より徒歩 15 分
※仙台市地下鉄東西線「青葉通一番町」駅 南 1 口より徒歩約 10 分

主 催 学士会　　**共 催** 東北大学・東北大学萩友会

参加ご希望の方は、下記必要項目を明記の上、件名を「**東北講演会**」として、学士会までメールでお申込みください。

①氏名（フリガナ）・年齢　②住所・電話番号
③出身大学・学部・卒年　※学士会会員または関係七大学ご出身の方
④同伴者氏名（フリガナ）・年齢
⑤参加希望の別（講演会・懇親会共に参加 ／ 講演会のみ参加）

メール：area@gakushikai.or.jp

※会費は、当日受付にてお支払ください。
※学士会会員以外の方もお申込みいただけます。定員に達し次第締め切らせていただきます。
※学士会会員以外の方で、関係七大学ご出身の方は、準会員（登録無料・会費不要）として、今後も学士会からのご案内を差し上げます。

学士会事業課（03-3292-5955/ 平日 9:00 ～ 17:00）

19

COI東北拠点シンポジウム

202X年の健康幸福社会を実現するデータ・インテグレーション

概旨
COI東北拠点は「さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が導くモチベーション向上社会創生拠点」として5年目に突入しました。当初3年間のフェーズ1で基盤技術の研究開発を推し進め、一部成果の社会実装を実現しました。現在のフェーズ2では、異業種の新規参画企業も加わり、フェーズ3における本格的な社会実装に向けた体制作りを着々と進めています。本シンポジウムでは、本拠点のこれまでの活動や今後の取り組みに関する報告や議論を行います。

日時
平成30年 **2月7日(水)**
13:00～17:00【12:00開場、受付開始】

会場
日本橋コレド室町3
室町ちばぎん三井ビルディング8階
日本橋ライフサイエンスハブ 会議室
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5

定員
150名 どなたでも参加できます。
※会員登録は不要です。事前登録頂ければ幾分スムーズ。当日受付で名刺一枚頂戴いたします。

案内図

プログラム

13:00 主催者挨拶　東北大学 理事 矢島 敬雅
13:05 来賓挨拶
坂本 修一　文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課長
松田　譲　国立研究開発法人科学技術振興機構 ビジョン1 ビジョナリーリーダー
13:15 基調報告①
フェーズ2も最終段階！COI東北拠点のこれまでの活動・成果と今後
和賀　巌　COI東北拠点 拠点長/プロジェクト統括(PL) NECソリューションイノベータ㈱プロフェッショナルフェロー
13:35 基調報告②
COI東北拠点 各プロジェクトの進捗・成果とフェーズ3に向けた方向性
末永 智一　COI東北拠点 副拠点長/研究統括(RL) 東北大学大学院環境科学研究科 教授
中村　力　東北大学産学連携機構 特任教授
早稲田大学サテライト
大橋 啓之　早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 研究院教授
東北学院大学サテライト
薮上　信　東北学院大学工学部 教授
14:15 特別講演①
フェーズ2新規参画企業紹介 ―COI東北拠点における取り組みと期待
カゴメ、シーエーシー、東急スポーツオアシス
三井物産、コープ東北、カシオ計算機
14:50 休憩
15:05 特別講演②
未来をつくる人になろう ～不確実で多様な未来に備える未来シナリオイノベーション
野村 恭彦　㈱フューチャーセッションズ 代表取締役社長 金沢工業大学教授
15:35 パネルディスカッション
COI東北拠点はイノベーションで世界を変えられるか？
パネラー
野村 恭彦　小暮 真奈
和賀　巌　宮川　健
末永 智一
モデレーター
宮田　満　日経BP社 特命編集委員
情報提供
① スタンフォードバイオデザインに学ぶイノベーション創出とCOIへの応用可能性　永富 良一
② 医療レギュレーションを踏まえたイノベーション戦略及び国際戦略　鈴木 由香
③ 「世界を変えた発明」とCOI東北拠点発のヘルスケアイノベーション　稲穂 健市
16:55 閉会の挨拶　東北大学 理事 伊藤 貞嘉
17:00 閉会
17:15～19:00 交流会 (会費:4,000円)
※別途、参加お申込みください。　※会費は、当日受付で頂戴いたします。

【主 催】国立大学法人 東北大学 革新的イノベーション研究プロジェクト

COI TOHOKU

20

七十七銀行　TOHOKU UNIVERSITY　JPX

東証IPOセミナー in SENDAI Entrepreneur Week

開催日時	２０１８年２月７日（水）１４：００～１７：０５（懇親会　１７：１５～１８：３０） (受付開始 １３：３０)
開催場所	セミナー　：東北大学金属材料研究所２号館１F講堂 懇親会　　：レストラン萩(東北大学片平北門会館２F)
主　　催	株式会社七十七銀行、国立大学法人東北大学、株式会社東京証券取引所
後　　援 （予定）	仙台市、宮城県、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部 七十七キャピタル株式会社、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社
開催概要	七十七銀行、東北大学及び東京証券取引所は、仙台市の起業家応援イベント「SENDAI Entrepreneur Week（仙台起業家週間）」の実施にあわせ、東京証券取引所でのIPOに関するセミナーを開催いたします。 CEOセッションでは、2017年9月に東京証券取引所マザーズに上場した株式会社マネーフォワード代表取締役社長 辻 庸介 様を、CFOセッションでは2017年3月に東京証券取引所ＪＱスタンダードに上場した株式会社ほぼ日取締役CFO 篠田 真貴子 様を講師にお招きし、それぞれの立場から見た企業の上場をテーマにセッションを行ないます。 七十七銀行が取組む、地域企業の成長支援および、東北大学における学生向けEDGE-NEXT事業から出資事業とシームレスなベンチャー支援、東京証券取引所における、IPOに関する情報提供を加えていくことで、東北地域経済の成長を加速させます。本セミナーが、東北地域の皆様にとって、将来の経営戦略をお考えいただく一助となれば幸いです。
プログラム	14：00～14：05　開会挨拶：七十七銀行地域開発部長　遠藤 禎弘 14：05～15：35　**【CEOセッション】** **株式会社マネーフォワード 代表取締役社長 辻 庸介氏** 15：35～15：45　休憩 15：45～17：00　**【CFOセッション】** **株式会社ほぼ日 取締役CFO 篠田 真貴子氏** 17：00～17：05　閉会挨拶： 東北大学　地域イノベーション研究センター長 経済学研究科教授　藤本 雅彦 17：15～18：30　**懇親会**
定　　員	100名(セミナー参加費無料)
申込方法	以下のいずれかの方法でお申し込みください ①参加申込みフォームよりのお申し込み https://reg34.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mamf-lbmdqa-380853e6623e171b26955ee24599c244 ②JPXのHPからのお申し込み （TOPページ ⇒「上場をご検討中の皆様」⇒「セミナー情報」） ③FAX申込用紙からのお申し込み

21

東北大学災害科学国際研究所シンポジウム

歴史が導く災害科学の新展開

日時：平成30年２月10日(土)13:00～17:00
場所：東北大学災害科学国際研究所１F　多目的ホール

アクセス：地下鉄東西線「青葉山駅」下車、南出口より徒歩約３分
＊駐車場はございませんので公共交通機関をご利用下さい。
当日参加可、事前登録は災害科学国際研究所HP（http://irides.tohoku.ac.jp/）より

第１部・文理融合型による災害研究の展開(13:05～14:15)

今村文彦(東北大学災害科学国際研究所所長)
「災害科学国際研究所における文理融合型の研究活動について」
柳澤和明(東北歴史博物館研究員)
「貞観地震・津波研究の現状と課題
―陸奥国府多賀城跡における被害と復興を中心に―」
後藤和久(東北大学災害科学国際研究所准教授)
「地質記録にみる東北地方太平洋沿岸の津波履歴」
蝦名裕一(東北大学災害科学国際研究所准教授)
「歴史学研究の観点からみた慶長奥州地震津波」
平野勝也(東北大学災害科学国際研究所准教授)
「土木史からみる石巻と北上川」

第２部・被災史料を活用した新たな研究の展開(14:30～15:30)

菊池慶子(東北学院大学文学部教授)
「仙台湾岸における海岸防災林の履歴」
川内淳史(神戸大学大学院人文学研究科特命講師)
「明治三陸津波と大船渡の近代化
―被災資料の保全作業を通して―」
熊谷 誠(岩手大学地域防災研究センター特任助教)
「唐丹村行政文書にみる昭和三陸津波への対応」
川島秀一(東北大学災害科学国際研究所教授)
「三陸沿岸と災害文化」

コメント(15:30～15:50)

奥村弘(神戸大学大学院人文学研究科教授)
平川南(人間文化研究機構理事)

パネルディスカッション(16:00～17:00)

コーディネーター：今村文彦、奥村弘

主催：東北大学災害科学国際研究所
共催：人間文化研究機構、東北大学災害科学国際研究所：被害予測と軽減ユニット（代表・今村文彦）、アーカイブユニット（代表・川島秀一）、
共同研究助成「岩手県沿岸における災害資料の整理・アーカイブと災害研究」（代表・奥村弘）
問い合わせ：東北大学災害科学国際研究所 災害文化研究分野（TEL）022-752-2144または022-752-2146（mail)ebin@irides.tohoku.ac.jp

22

東北大学 大学院情報科学研究科シンポジウム　聴いて知る、もうひとつのオープンキャンパス

「情報科学」から「交通ネットワーク」を考える

2018年２月18日(日)　定員150名　参加無料

13:00–17:00 | 12:30受付開始 | 会場 東北大学 大学院情報科学研究科棟 2階 大講義室

アクセス　市営地下鉄東西線 青葉山駅北1出口から徒歩1分

参加申込
事前にウェブサイトからの参加申込をお願いしています。当日参加も可能です。
www.is.tohoku.ac.jp/sympo/

GSIS Graduate School of Information Sciences Tohoku University

お問い合わせ　東北大学 大学院情報科学研究科 総務係
✉ is-somu@grp.tohoku.ac.jp　TEL：022-795-5813

東北大学 大学院情報科学研究科シンポジウム「情報科学」から「交通ネットワーク」を考える

未来のナビ。未来へのナビ。

日々の通学や通勤、国内外への旅行、生産地と消費地を結ぶ物流など、私たちの暮らしにとって「人と物の移動」は欠かすことのできない要素です。道路や鉄路、航路といったネットワーク上を、より速く、より多く、効率的に移動することを目標に発達を続けてきた交通のテクノロジー。そこではいま、時間やコストに加え、安全性の向上、環境負荷の低減、快適さの追求といった視点も重要視されています。今回の情報科学研究科シンポジウムでは、交通関連の研究に取り組む研究者だけでなく、数学や哲学の研究者も登場。学際色豊かな情報科学研究科らしく多様な視点から交通ネットワークの未来を考えます。題して「未来のナビ。未来へのナビ。」さて、それぞれの研究者はどんな未来を指し示してくれるでしょう。

講演1　道路交通のウラ側
手のひらから交通へ
桑原 雅夫 教授
私たちの身の回りは、気づかないうちに数多くの交通センサーに囲まれています。スマホ、Bluetooth、Twitterなどもその一つです。今回は、これら身近なセンサーデータが、さまざまな交通状況を教えてくれる舞台裏を紹介します。未来2050年のナビは、一体どんな情報を教えてくれるのかを一緒に考えましょう。

講演2　次世代自動車のウラ側
地方創生のために次世代モビリティがすべきこと
鈴木 高宏 教授　未来科学技術共同研究センター（NICHe）
自動運転は実用化できるのか、本当に役に立つものにできるのでしょうか。東北では過疎高齢化、さらに震災も加わり、期待が大きい一方、課題が山積しています。自動運転と次世代自動車の地方への導入・普及についての実状をロボット分野の観点も入れて解説しながら、お話ししたいと思います。

講演3　経路探索のウラ側
全経路探索列挙索引化技術
吉仲 亮 准教授
現在地から目的地までの経路を求めたいと思ったら、カーナビや路線検索アプリが最短時間や最安料金の経路を素早く見つけてくれます。でも、見つけたいのは最短最安経路だけでしょうか。おもいっきり遠回りをして旅してみたいと思ったら？ 今回は、あらゆる経路を探索してさまざまなワガママに答える技術についてお話しします。

講演4　ネットワークのウラ側
グラフ理論の深みを覗く
尾畑 伸明 教授
ネットワークは日常的にどこにでも観察される面白い研究対象です。その構造を抽象化するとある種だけからなる「グラフ」と呼ばれる図形が得られます。このような図形に関する数学がグラフ理論です。オイラーの一筆書きと以来、多くの数学者が探究してきたその深淵を巨大性・ランダム性の視点から覗いてみたいと思います。

講演5　自動運転のウラ側
渋滞のない道路交通システムをデザインする
赤松 隆 教授
近年発展が著しい自動運転技術は、現在の道路交通システムが抱えるさまざまな問題を解消するとの期待されています。しかし、この技術単独の発展のみでは、世界中の都市で未解決の「渋滞問題」の根本的解決にはつながりません。今回は、自動運転車が普及した将来、道路渋滞を解消するには、どのような仕組みが必要かを考察します。

講演6　リニア新幹線のウラ側
地下を中空移動する半宇宙人の夢
森 一郎 教授
大地に縛りつけられてきた人類は古来、天空へ飛翔したいという憧れを抱いてきました。宇宙エレベーターは、天と地をつなぐ夢の懸け橋ですが、リニア新幹線は、地下深くに開けた宇宙空間を通って中空飛行しようとする現在進行形のプロジェクトです。この幽穴津空路建設が何を意味するか、ちょっと立ち止まって考えてみましょう。

パネルディスカッション
「どうなる？未来の交通ネットワーク」

モデレータ
井上 亮 准教授

人や物が全世界を行き交う現在、その移動を担う交通ネットワークは、人々の日々の暮らしを根底から支えています。これまで交通ネットワークは、安全かつ円滑な移動の実現を目指して整備されてきました。それでは今後、どのように発展していくでしょうか？ 数学や哲学の視点も交えた情報科学の立場から、未来の交通ネットワークの可能性を考えてみましょう。

Program
2018年2月18日(日)

12:30	開場
13:00	開会の挨拶
13:10～14:00	講演1～2
14:10～15:00	講演3～4
15:10～16:00	講演5～6
16:10～17:00	パネルディスカッション
17:00	閉会

申込方法
www.is.tohoku.ac.jp/sympo/
ウェブサイトのお申し込みフォームに必要事項（氏名、所属、連絡先）を明記のうえ、お申し込みください。
会場の都合上、事前登録をお願いします。
当日の参加も可能ですが、席の準備ができない場合はご了承ください。

特設ウェブサイトで参加申込受付中！

会　場：東北大学 大学院情報科学研究科棟 2階 大講義室
市営地下鉄 東西線 青葉山駅 北1出口から徒歩1分
（地下鉄仙台駅から9分）

23

世界の歌、日本の歌、懐かしのあの合唱曲を
国内外で活躍する若手ナンバーワンのマエストロが振る！

TOHOKU UNIVERSITY KAWAUCHI HAGI HALL
THE FOUR SEASONS PROGRAM 2017-2018
東北大学 川内萩ホール フォーシーズンズ プログラム 2017-2018 vol.4

山田和樹 指揮
東京混声合唱団

演奏予定曲目
世界の国歌集
ゆけ、わが思いよ、黄金の翼に乗って
気球に乗ってどこまでも
地球へのピクニック／翼をください
風になりたい／ライオンは眠っている
Over the Rainbow
コンダリラ（滝の精）／瑠璃色の地球
上を向いて歩こう
涙をこえて／心の瞳 他

※都合により曲目は変更になる場合がございます。

萩原麻未［ピアノ］

KAZUKI YAMADA
THE PHILHARMONIC CHORUS OF TOKYO

2018
2.18［日］15:00開演（14:30開場）
東北大学百周年記念会館
川内萩ホール 仙台市地下鉄東西線「国際センター」駅から徒歩5分

入場料
S席¥5,200／A席¥4,500／学生席（大学生以下）¥3,000（税込）
※学生席は同席チケットセンターのみ扱い。
電話申込後、最寄駅以外でお近くの店舗にチケットを受取ります。
（ぴあ・ローソンなどご利用を選択ご案内ください）
チケット一般発売日：2017年11月10日（金）
※未就学児の入場はお断りします。

プレイガイド
○河北チケットセンター 022-211-1189（平日10:00～14:00）
○藤崎 ○仙台三越
○ローソンチケット 0570-084-002（Lコード:22566）
○チケットぴあ 0570-02-9999（Pコード:345-969）
○イープラス http://eplus.jp ○TBCホームページ

お問合せ
河北新報社企画事業部 022-211-1332（平日10:00～17:00）
TBC事業部 022-714-1022（平日9:30～17:30）

主催／東北大学 河北新報社 TBC東北放送

26

J UNIVERSITY HOSPITAL 東北大学病院 からだの教室 第13回 KARADA NO KYOSHITSU

OTOKO★NIGHT

男性限定
参加無料
事前のお申し込みが必要です

オトコだって悩んでます！

1DRINK付き
※2ドリンク～、軽食も有料

不妊治療のホンネ

不妊治療が身近な選択肢のひとつとなった今、
不安や疑問を抱えている男性も少なくありません。

パートナーには話しにくい
誰に聞いていいかわからない
同じ立場の人と話したい

そんな男性を対象に、当院で不妊治療を専門とする
医師と看護師が皆さんとホンネで語り合います。

出演 立花 眞仁（産婦人科医師） 山下 慎一（泌尿器科医師）
髙橋 恵美子（助産師・不妊症看護認定看護師）
神宮 啓一（広報室 室長）
進行 長神 風二（東北メディカル・メガバンク機構）

2018.2.23 fri 19:00-20:30（OPEN18:30） SENDAI KOFFEE CO. 仙台市青葉区春日町4-25 パストラルハイム春日町1F

対象者：不妊治療について悩んでいる男性（定員25名）
※定員数になり次第、申し込みを締め切りさせていただきます。あらかじめご了承ください。

応募締切 2018年2月2日（金）

申し込み方法 申し込みフォーム 右記にアクセスし、申し込みフォームから必要事項をご入力のうえお送りください。

※個人情報は、東北大学病院「からだの教室」に関するご案内をお送りする場合のみ利用させていただきます。それ以外の目的には一切使用いたしません。
※携帯電話の場合、karada@pr.hosp.tohoku.ac.jpからのメールが受信できるよう、あらかじめドメイン指定設定の解除をお願いいたします。

主催：東北大学病院 協力：東北メディカル・メガバンク機構 お問い合わせ：東北大学病院広報室「からだの教室」担当 TEL:022-717-7149 E-mail:karada@pr.hosp.tohoku.ac.jp

TUH

©2017 東北大学病院

27

FURE 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
仙台シンポジウム

ほんとの空が戻る日まで

震災の記録と教訓を残し、未来に活かす

日時 2018年 2/24（土） 13:00～17:30

会場 東北大学 片平さくらホール 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学片平キャンパス内

東京大学名誉教授、前 文化庁長官
青柳 正規 氏
1967年、東京大学文学部美術史学科卒業。東京大学文学部助教授、教授、学部長、副学長を経て2005年定年退官、国立西洋美術館館長、独立行政法人国立美術館理事長を併任。2013年～2016年文化庁長官

参加募集人数 150名 参加費無料

事前申込みが必要です。
参加ご希望の方は裏面の参加申込方法により2月13日(火)までにお申込み下さい。
（事前申込制 定員になり次第、締め切ります）

プログラム

Ⅰ部 基調講演「災害記録を未来に活かす―古代ポンペイの調査を通じて―」
青柳 正規 氏 東京大学名誉教授（前 文化庁長官）

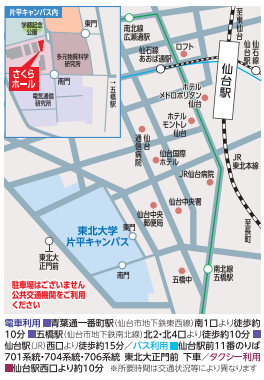
Ⅱ部 福島の現状報告
「福島の現状と課題」…… 初澤 敏生 FUREセンター長
「避難所運営シミュレーション教材による取組み」…… 天野 和彦 FURE地域復興支援部門 特任教授
「「社会力」の向上を目指した防災教育」… 本多 環 FUREこども支援部門 特任教授
「震災関連資料の収集と保存」…… 柳沼 賢治 FURE地域復興支援部門 特任准教授

Ⅲ部 パネルディスカッション
「震災の記録と教訓を残し、未来に活かす」

［モデレーター］
菊地 芳朗 FURE地域復興支援部門長

［パネリスト］
佐藤 大介 氏 東北大学災害科学国際研究所 准教授
高木 亨 氏 熊本学園大学社会福祉学部 准教授
佐藤 孝雄 氏 岩手県山田町職員
瀬戸 真之 FURE地域復興支援部門 特任准教授

※FURE＝福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの略



電車利用 ■青葉通一番町駅（仙台市地下鉄東西線）南1口より徒歩約10分 ■五橋駅（仙台市地下鉄南北線）北2・北4口より徒歩約10分 ■仙台駅（JR）西口より徒歩約15分／バス利用 ■仙台駅前11番のりば701系統・704系統・706系統 東北大工門前 下車／タクシー利用 ■仙台駅西口より約10分 ※所要時間は交通状況等により異なります

参加対象者 一般市民、大学関係者、学生、行政職員 他

主催▶国立大学法人福島大学、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
共催▶国立大学法人東北大学
後援（予定）▶文部科学省、復興庁、福島県、宮城県教育委員会、仙台市、双葉地方町村会、公益社団法人経済同友会 他

30

エフエム仙台開局35周年記念 東北大学川内萩ホール Classical Wave

オーケストラで歌う エバーグリーンコンサート

supported by GFG German Factory Group

2018年3月24日（土） 16:00開場／17:00開演

会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

チケット販売日 2017年12月18日(月)10:00～
ローソンチケット（Lコード：22387）
チケットぴあ（Pコード：100-633）
藤崎、仙台三越

チケット全席指定
【一 般】¥4,800（※萩友会¥3,800）
【学 生】¥2,500
※萩友会・学生席は、エフエム仙台サウンズのみ扱い
※表示価格は全て税込です ※未就学児童入場不可

【主 催】Date fm エフエム仙台 東北大学 【特別協賛】GFG
【後 援】河北新報社 【企画制作】（株）タイトプランニングオフィス エフエム仙台サウンズ

【お問合せ】エフエム仙台サウンズ tel. 022-265-7716（平日10:00～17:00）

28

災害は、何時起こるのかわからない。しかし、心の備えは、いつでも生きる知恵となる！

あの日から、七年の歳月が経とうとしています。みなさんの震災の記憶は、どう変化しているでしょう。
今年の証言は、7年を経て、今、思うことを、みなさんがそれぞれの立場から語ってくださっています。
被災地では、復興のかたちが現れてきた地域もずいぶんあります。
一方、福島は原発で壊れたふるさとに戻れない人々も多く、複雑な問題は続いており、
岩手県、宮城県、福島県全体で、約8万人が避難先で生活しています。
自然災害はかならずやってきます。
震災の体験のない方も増えつつある昨今は、震災の記憶を伝えることも大切な防災活動です。

竹下 景子

ゲルスタ ユリア（ベルリン自由大学講師）

柴山 明寛（しばやまあきひろ）

高塚 美奈子

誉田 広耶（ほんだひろや）

宮城県多賀城高等学校合唱部

朗読・構成 水月 りの

写真撮影 加川 広重

朗読 飯田 利加　演奏 志賀野 桂一　進行&朗読 白津 守康

応募方法 締切／2018年2月20日(火)

往復はがきにて応募ください

往復はがきの往信面の表に①イベント名、希望人数②参加者全員の郵便番号、住所、氏名をご記入のうえ、お申込みください。詳しくはお記きに書いてください。※1枚でお名様までご入場できます。
●結果通知：
返信ハガキにて通知
※当選者、定員にかなり近い時のみ

往信（おもて）：〒980-8799 仙台中央郵便局留「かたりつぎ」係
往信（うら）：この欄は記入不要です。
返信（おもて）：〒□□□-□□□□ あなたのご住所 あなたのお名前 様
返信（うら）：①「かたりつぎ」係 希望人数 1人 又は2人 ②ご住所 ③お名前 ※会場で応募者番号は会場名称を表記 ④お電話番号

31

NEWS

東北大学アンテナ

ON AIR

東北大学の先生の話がここでも！

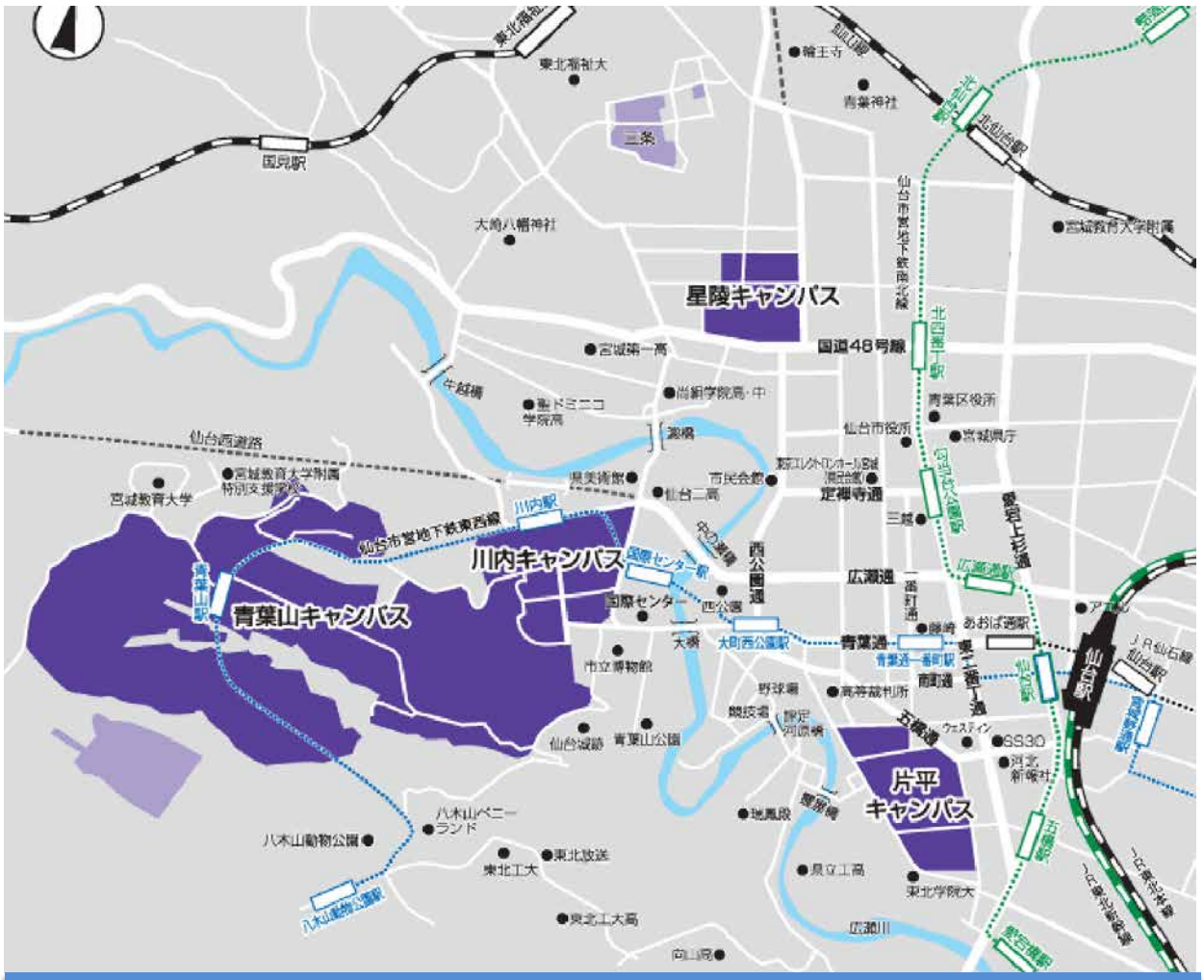
曜日	番組内容
日	毎日新聞・日曜 **脳を鍛えたい／脳トレ川柳** 川島隆太教授（加齢医学研究所）
日	Datefmエフエム仙台・日曜8:25-8:55 **SUNDAY MORNING WAVE** 今村文彦教授（災害科学国際研究所）
木	Datefmエフエム仙台・木曜10:00-10:05 **hessoラヂオ** 東北大学病院の先生、看護師など
木	河北新報（夕刊）木曜 **川島＆滝のスマート・エイジング** 川島隆太教授・滝靖之教授（加齢医学研究所）
土	河北新報　土曜 **東北大30の挑戦―社会にインパクトのある研究―**
第１・３金	河北新報（くらし面） **気になる症状すっきり診断** **東北大病院専門ドクターに聞く**
日月 水金	J:COM（ケーブルテレビ） 日 18:00- 月 19:00- 水 22:00- 金 19:00- **サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン**
都度	河北新報/河北新報ONLINE NEWS **サイエンスカフェ・** **リベラルアーツサロン** http://www.kahoku.co.jp/special/spe1097/
随時	読売新聞ONLINE **東北大病院100年** http://www.yomiuri.co.jp/local/miyagi/feature/CO017751/

東北大学一般公開施設一覧

キャンパス	施設名	開館時間	休館日	問合せ・その他
片平	**魯迅の階段教室 （旧仙台医学専門学校六号教室）**	毎週火・木曜日の 13:00～16:00	祝日、6/22、夏季休業日、年末年始	総務企画部広報課 022-217-6090 ※１週間前までに要予約 学術目的でのみ公開
片平	**東北大学史料館**	10:00～17:00 ※12:00～13:00は閲覧室休み	土・日・祝日、夏期休業日、年末年始	東北大学史料館 022-217-5040 無料
片平	**本多記念室 ・資料展示室**	9:00～16:30	土・日・祝日、夏期休業日、年末年始	金属材料研究所 情報企画室広報班 022-215-2144 無料 ※案内希望の場合10日前までに連絡
片平	**エクステンション 教育研究棟 １F広報展示スペース**	8:30～17:15	土・日・祝日、夏期休業日、年末年始	総務企画部広報課 022-217-4816 無料
川内	**東北大学植物園**	9:00～17:00 (春分の日-11/30)	月曜定休 （月曜祝日の場合祝日明け）	東北大学植物園 022-795-6760 大人：230円 小中学生：110円 ※団体料金、年間パスポート等あり
川内	**西澤記念資料室**	9:00～16:00	土、日、祝祭日	教育・学生支援部 入試課 022-795-4804 無料
川内	**東北大学百周年記念会館 (川内萩ホール) 展示ギャラリー**	9:30～17:00	火、年末年始	川内萩ホール 022-795-3391 無料
青葉山	**自動車の過去・未来館**	8:00～20:00	年中無休	機械系広報推進室 022-795-4043 無料
青葉山	**東北大学理学部 自然史標本館 (東北大学総合学術博物館)**	10:00～16:00	月曜定休 （月曜祝日の場合祝日明け）	東北大学総合学術博物館 022-795-6767 （個人）大人:150円 小中学生:80円 ※萩友会プレミアム会員は入場無料 ※団体料金(20名以上)あり
青葉山	**東北大学大学院薬学研究科 ・薬学部 附属薬用植物園**	9:00-17:00	土・日・祝日	附属薬用植物園 022-795-6799 無料 ※園内の案内や解説は事前連絡
青葉山	**分散コンピュータ博物館 (サイバーサイエンスセンター展示室)**	9:00～17:00	土・日・祝日	サイバーサイエンスセンター 022-795-3406 ※説明、10名以上の見学時は要事前連絡
その他	**阿部次郎記念館**	10:00～16:00	日、月、祝祭日、月末日、12/28-1/4	阿部次郎記念館 青葉区米ヶ袋3丁目4-29 022-267-3284 無料

キャンパスマップ

各キャンパスまでは、下記の地図を参照の上ご来場ください。



■ 片平キャンパス

（地下鉄）

五橋駅（仙台市地下鉄南北線）　北 2 口から徒歩約 10 分

青葉通一番町駅（仙台市地下鉄東西線）　南 1 口から徒歩約 10 分

（バス）

仙台市営バス仙台駅前 11 番乗り場から「(東北大学病院前－八木山動物公園駅)八木山動物公園駅行」か「(東北大学病院前－緑ヶ丘三丁目)緑ヶ丘三丁目行」か「(東北大学病院前－西高校入口)西高校入口行」で約 5 分 東北大学正門前下車

■ 川内キャンパス

（地下鉄） 川内駅（仙台市地下鉄東西線）　キャンパス直結

国際センター駅（仙台市地下鉄東西線）　西 1 口より徒歩約 5 分

■ 青葉山キャンパス

（地下鉄） 青葉山駅（仙台市地下鉄東西線）　キャンパス直結

■ 星陵キャンパス

（地下鉄）

北四番丁駅（仙台市地下鉄南北線）　北 2 口より徒歩約 15 分

（バス）

仙台市営バス仙台駅前 9 番乗り場「北山・子平町循環」

10 番、15-1,15-2 番乗り場　東北大学病院経由　東北大学病院前 下車

13 番、14 番のりば　東北大学病院経由か北山トンネル・中山経由か山手町・中山経由 東北大学病院前下車か歯学部・東北会病院前下車

60 番乗り場　交通局東北大学病院前行　交通局東北大学病院前下車　いずれも所要時間 20 分

「まなぶひと」のおもな配架場所

[片平キャンパス]北門会館(エントランス・萩友会ラウンジ)、北門守衛室、エクステンション教育研究棟、本部棟エントランス、史料館 [川内キャンパス]川内萩ホール、附属図書館本館、川内厚生会館　[青葉山キャンパス]総合学術博物館、工学部購買部　[星陵キャンパス]東北大学病院　[その他]国際センター駅、せんだいメディアテークフリーペーパーコーナー、仙台市市民活動サポートセンター

東北大学まなび情報誌 まなぶひと 2018.2 月号(Vol.26) 2018 年 1 月 15 日発行（毎月 15/30 日発行）
編集・発行：東北大学総務企画部広報課社会連携推進室
連絡先：〒980-8577　仙台市青葉区片平２丁目１－１
Tel：022-217-5132　E-mail：social@grp.tohoku.ac.jp